



プール開きで夏本番へ！

前途洋々

先週は、ほとんどの学年でプール開きを行いました。写真は小学校で初めて水泳の授業を経験する1年生の様子です。水泳の授業では事故防止に一層気をつかいますが（今年も感染対策が必要です）、子供たちは喜びを見せながらも、担任の岡田先生の指示を真剣に聞き、行動することができていました。初めてということで、プールの使い方や水に慣れることを中心に活動が進みました。子供たちは水を怖がる様子もなく（すごい！）、水の中を歩いたり顔を水につけたりすることに少しずつ挑戦していました。泳ぎが上手になること、体力をつけることと同時に、命を守ることを学ぶ学習でもあります。苦手な子供たちも少しずつ水と仲良くなってもらいたいと思います。



少しずつ体を水に慣れさせていきます。

児童が考え、表現する姿を追って⑤（外国語活動・外国語の学習）

昨年度、新しい小学校学習指導要領が全面実施となり、それに合わせて、3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語が始まりました。それぞれ1週あたり1時間、また、2時間の授業を行っています。ALTのジョイ先生を迎えてティーム・ティーチングを行うこともあります。従来の「聞く」「話す」の活動に加え、5・6年生では「読む」「書く」活動が加わったことが今回の学習指導要領改訂の大きな変更点です。しかし、あくまでも、コミュニケーション活動で十分慣れ親しんだ語彙や文を読んだり書き写したりするものであり、中学校での学習とは異なります。

さて、15日（火）は久しぶりにジョイ先生が3年、5年の授業に参加されました。写真は3年生の授業の様子です。自己紹介の復習と、数に慣れ親しむ活動を行いました。子供たちは、ジョイ先生の問いかけに対し、物怖じすることなく自分の名前を言うことができていました。1～20までの数の中には、発音が難しいもの、混同しやすいもの（12や20など）などがありますが、先生と一緒に何回も繰り返し練習をしていました。英語を使った授業では、コミュニケーション活動を多く行います。コミュニケーション活動においては、相手の立場に立ってやり取りをすることが求められ、相手を尊重する姿勢を培うことが可能です。そのような姿が益々多く見られるよう楽しみにしているところです。



担任の山田先生と自己紹介の練習をする子供たち。一生懸命伝えています。

日々の一コマから～もうすぐ昼休みが終わる時刻の運動場で～

本校では、チャイムに頼らず、すべての子どもが時計を見て、自分で判断しながら移動しています。昼休み、子供たちは運動場で元気よく遊んでいますが、そうじ5分前くらいになると、サーッと潮が引くように運動場から誰もいなくなります。遊びに夢中で、「もうそうじが始まるよー！」と注意を受ける光景も見ません。最初はこの光景を見てたいへん驚きましたし、お客さんにこの話をすると感心されます。（今となっては、私にとって当たり前の光景になってしまいましたが・・・）ある子供にこのことを話すと、当たり前すぎて、なぜ驚かれるのか分からない様子。「だって、時計があるから・・・。」と言われてしまいました。今後に残したい南っ子のよさですね。

50人くらいの子供たちが遊んでいましたが・・・



そうじ5分前にはこのとおり誰もいません。

